

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造的に音楽にかかわり，音楽活動への意欲を高め，音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 ・ 音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して，基礎的な表現の能力を高め，音楽表現の喜びを味わうようにする。 ・ 音楽の楽しさを味わって聴き，様々な音楽に親しむようにする。 	
	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前期	<p>ふしの重なり合いを感じ取る ○こいのぼり ○いつでもあの海は ○やさしい風に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声や音が重なり合う美しい響きを求めて，進んで表現しようとしている。 ・ 旋律が重なり合う響きを感じ取って，美しく響き合う表現の仕方を工夫している。 ・ 旋律の重なり方や拍子の特徴などを生かして，表情豊かに歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 <p>アジアの音楽に親しもう ○アジアの国々の音楽 ○アリラン ○おはやしづくり 子守り歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律の特徴や歌詞から曲想を感じ取って，歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。 ・ 旋律の特徴を感じ取って歌ったり，おはやしをつくって演奏したりすることができる。 ・ アジアの国々の音楽の違いを感じ取ったり，よさを味わったりしながら聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 響きのある声で合唱したり，響きの変化を感じ取って演奏したりすることができる。 <p>曲想を感じとろう ○冬げしき ○秋にさよなら ○キリマンジャロ アイネ クライネ ナハト ムジーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想像豊かに聴いたり，曲想に合った表現の仕方を工夫したりしようとしている。 ・ 短調の曲想を感じ取って，気持ちをこめた歌い方や合奏を工夫している。 ・ 曲想の変化や移り変わっていく響きを感じ取りながら聴くことができる。
後期	<p>いろいろなひびきを味わおう ○美しきロスマリン ○わたり鳥と少年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音や重なり合う響きに関心をもって，進んで聴いたり表現したりしようとしている。 ・ 声や音が重なり合う響きを感じ取って，歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。 ・ 歌と楽器が重なり合う響きに気を付けて，歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 	<p>日本の音楽を味わおう ○浜辺の歌 ○待ちぼうけ 荒城の月 スキーの歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歌曲に関心をもって，進んで聴いたり表現したりしようとしている。 ・ 歌詞の表す情景を想像したり，歌詞と旋律のかかわりを感じ取ったりして，表現の仕方を工夫している。 ・ 日本の歌曲の言葉や旋律の美しさを味わったり，人の声の特徴を感じ取ったりしながら聴くことができる。 <p>心をこめて演奏しよう ○大空がむかえる朝 ○朝日をあびて ○タぐれ 失われた歌 卒業式の歌 ○君が代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と声を合わせて歌ったり，心をこめて演奏したりする活動を楽しんでいる。 ・ 歌詞の表す気持ちや曲想を感じ取って，歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。 ・ 曲想を生かしながら心をこめて，合唱したり重奏や合奏をしたりすることができる。 ・ 気持ちをひとつにして表現している様子を感じ取りながら，範唱や友達の演奏を聴くことができる。

音楽科の評価

・ 音楽科では四つの観点で評価します。

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
創造的に音楽にかかわり，音楽活動への意欲を高めるとともに，生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	音楽のよさや美しさを感じ取るとともに，楽曲全体の構成を理解したり，自由な発想を生かしたりして，表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに，豊かな響きのある自然で無理のない声で歌ったり，音色の特徴を生かして楽器を演奏したり，音楽をつくったりしている。	楽曲の構成に気がつけながら，曲想を全体的に味わって聴く。

・ 次のような方法で見えていきます。

発言内容	テスト	表情や態度の観察	演奏聴取	鑑賞態度の観察	学習カードの利用	ワークシート
練習の様子 演奏場面の観察 グループの演奏聴取						

おうちの方へ

・ 合奏，合唱を通して，自分で演奏できる喜びや友達と合わせる楽しさを感じるようにします。
 ・ 家庭でも習った歌と一緒に歌う，演奏を聴くなど子どもと共にお楽しみください。きっと懐かしい歌もあるはずです。